

54件のエントリー、10人のファイナリスト、62社のサポーター企業。視聴者が選ぶオーディエンス賞は…

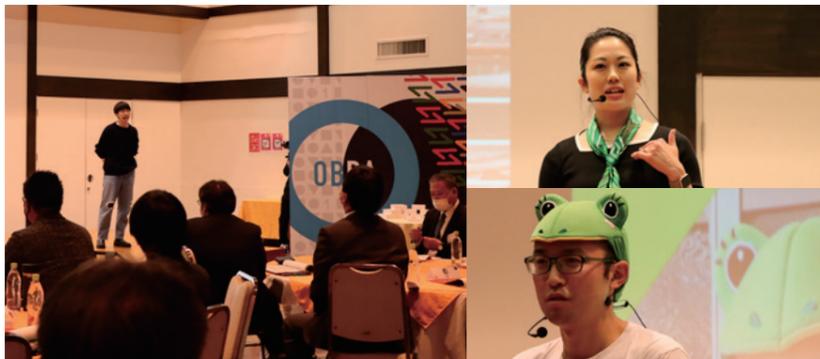
この企画に対して、今年は大學生や経営者など10代〜70代まで計54件のエントリーがありました。そして幾度ものブラッシュアップセミナーを乗り越え、最終選考に残った10人のファイナリストが、11月12日城島高原ホテルに集結。「別府の中で展開したいビジネスやプロジェクト」を持ち寄り、オンライン視聴を含んだ62社に及ぶ企業の前で、熱いプレゼンテーションを繰り広げました。

その結果、ファイナリストの夢に対して人的支援やビジネスモデルのブラッシュアップなどのサポートをしていく企業とのマッチングは、昨年を上回る199件が成立し、多くの皆様にご参加・ご支援をいただきました。

また、視聴者による252件の投票の結果、オーディエンス賞は「別府市フリースクールの充実」を発表した高部春菜さんが受賞しました。



▼1人5分のプレゼンテーションの中で熱く語るファイナリストたち



ドリームゲスト賞も

この企画に合わせてオンライン視聴者を募集し、266件の応募、及びサポーター企業の中から厳正に抽選を行い、ドリームゲスト賞として3人に岡本屋旅館、山田別荘、両築別邸のワークショップ（無料宿泊券）がプレゼントされました。

この企画に合わせたオンライン視聴者を募集し、266件の応募、及びサポーター企業の中から厳正に抽選を行い、ドリームゲスト賞として3人に岡本屋旅館、山田別荘、両築別邸のワークショップ（無料宿泊券）がプレゼントされました。

市民・学生・卒業生・別府を大好きな人たちが1年に1度、別府に集い・別府を想い、「ただいま!」「おかえり!」をみんなで行い合うことができたなら... そのような願いの下、2019年から「市民・学生大同窓会」を開催しています。

今年も昨年に続き、別府を選び起業・創業する人にスポットを当て、地域課題の解決や社会価値を創造するようなビジネスモデルが生まれた背景やストーリーを知ってもらい、応援してもらうためのビジネスプランコンテスト「ONE BEPPU DREAM AWARD 2021」を開催しました。回を重ねる毎に熱気を帯びている同イベントを振り返ります。

☎ 文化国際課 ☎ 21-1131



ONE BEPPU DREAM AWARD 2021 オーディエンス賞受賞
高部 春菜 さん 【事業名】別府市フリースクールの充実

8月のキックオフカンファレンスに出席した際、長野市長やビービズリンクの小島さんとお話する機会があり、子どもたちの居場所の必要性をもっといろんな方に知ってもらいたい!できれば、サポートしてほしい!そう感じたことがエントリーのきっかけとなりました。ブラッシュアップの日は、いつもボランティアの方や子どもたちから「頑張ってるね!」と送り出してもらいながらの参加でした。一人だけではできないことが多く、その度にいろんな方から助けていただいて ONE BEPPU DREAM AWARD を迎えることができました。これからも、学校に行けない子や居場所のない子だけではなく、「別府の全ての子どもたち」を幸せにするために、子どもたちに寄り添いながら、子どもたちを人や地域とつなげていきたいです。



10人のファイナリストと事業名

01	末光伊菜季	国際医療イノベーション事業 -外国人医療にも選択肢を-	06	ジュンファント	おんせんテーマパーク ZOOPO
02	飯田惟太郎	湯けむり図書館「木陰」	07	藤野荘子	若年層の就労支援 ~社会の居場所をすべての若者に~
03	一色翔太	別府街づくり結色プロジェクト	08	笠木政治	「歩く」を愉しむ別府の小路 -道から始まる100年続く街づくり-
04	高部春菜	別府市フリースクールの充実	09	阿部響	別府元気もりもりプロジェクト ~街と人をつなぐ食堂セカンドハウス~
05	吉永陽介	忘れた事をきっかけに忘れられない街になる~持続可能な観光誘致~	10	橘木良祐	別府で作る”温泉地獄ガエル”

夢やビジョンを叶えるまち

市民学生大同窓会事業の1つとして定着したONE BEPPU DREAM AWARD。今回で3回目となったこのイベントはエントリー数・マッチング成立件数ともに昨年を上回り、大盛況のうちに幕を閉じました。これからも別府市が起業創業しやすく、夢やビジョンを叶えやすいまちとしてあり続けるために、自由な想像力を生かした地域資源の活用や地域事業者と連携した地域活性化を図っていきます。来年も皆さんのご応募をお待ちしています。

当日の様子は
Youtubeで
ご覧になれます

